

# 野焼き支援ボランティアの心得五ヶ条

## 一、安全第一に行動する。

1. 牧野組合又は財団の指示に従って行動する。
2. 必ず集団で行動し、決して単独行動はしない。
3. 勝手に原野の中に入らない。
4. 体調に注意し、決して無理をしない。
5. ケガや事故のないように注意する。

## ◎二、安全な服装をする。

1. 難燃性活動服や燃えにくい綿製品及び帽子などを着用する。
2. 牧野で動きやすい服装をする。(長靴は避ける)
3. 両手を使えるようにする。(荷物はリュック又はウエストポーチなどに入れる)
4. 軍手・手袋、タオル、帽子、水筒、ライター、(マッチ)、弁当は必ず持参する。  
(煙対策としてマスクや防塵メガネ(ゴーグル)を準備すると良い)
5. 天候の変化に備える。(雨・寒さ対策など)

## 三、ルール・マナーを守る。

1. 集合時間を厳守する。(集合場所から移動して作業しますので、遅れての参加は出来ません。火に巻かれる危険があります。)
2. 集合場所を厳守する。(車は所定の場所に駐車しないと危険です。又、草原の中では車の鍵はつけたままにし、緊急に移動できるようにしておく。)
3. ゴミは必ず持ち帰る。
4. 草原を守る人の輪を大切にする。

## ◎四、支援ボランティアに徹する。

1. 野焼き支援ボランティアは、各牧野の野焼き・輪地切り作業を支援する。(野焼き・輪地切りの責任はあくまで牧野です)
2. 牧野組合員の指示に従って作業をする。
3. 火消し役に徹する。(火付け役は牧野関係者です)

## ◎五、天気に従う。

- ※1. 野焼き・輪地切りは天候によって変更されます。(雨や雪の場合草が燃えない。又、何日も乾いた日が続いた時や強風の場合は危険です)
2. 天候によって延期されても、天気に従い支援を続ける。(地元の方々には天気に従い、営々と野焼きを続けられてきたことを主体化する)